

4割以上が困っている梅雨の洗濯物や湿度、濡れた持ち物の保管 小さな工夫で梅雨の暮らしを快適に

積水ハウス株式会社は、梅雨の時期に向けて、より快適に過ごせる生活空間のご提案を目的に、全国の20~60代の既婚男女を対象に「梅雨の暮らしに関する調査」を実施しました。

積水ハウスの研究機関の住生活研究所では、暮らしにおける「幸せ」のさらなる追求のために「住めば住むほど幸せ住まい」研究として様々な調査を実施しています。今回は梅雨の時期に向けて、暮らしや住まいのお悩みや、その対策状況などを調査しました。さらに、梅雨の時期の雨具の使用状況や、自宅での保管場所なども導き出しました。

～調査サマリー～

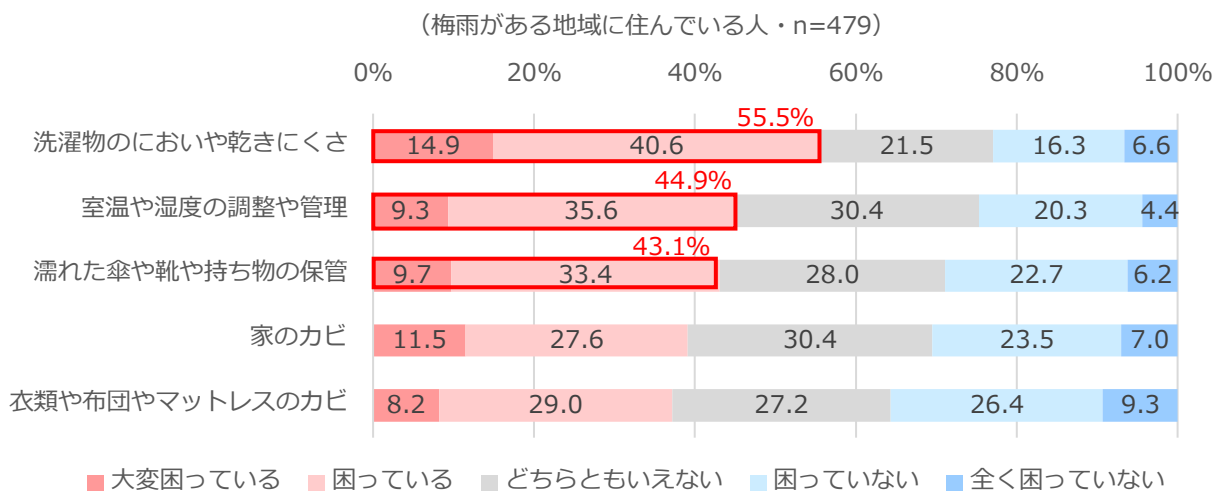
- ✓梅雨の時期の様々なお悩み、「洗濯物のおいや乾きにくさ」は55.5%、「室温や湿度の調整や管理」は44.9%、「濡れた傘や靴や持ち物の保管」は43.1%、「家のカビ」は39.1%の人が困っている
- ✓長い傘を持ち歩く人は、終日雨の日は73.6%、雨予報がある日（終日雨の日を除く）は41.8%
- ✓濡れた傘・雨靴を「玄関土間」に置く人が約4割、約3割が濡れた雨靴をそのまま下駄箱・玄関収納に

洗濯や、家のカビ、濡れた持ち物の保管など、梅雨の時期の暮らしや住まいに関する調査結果をはじめ、梅雨の時期もより快適に過ごすための4つの「幸せ Tips」もご紹介します。

半数以上の人困っている、梅雨の洗濯物のおいや乾きにくさ

梅雨の時期における困りごとを聞いたところ、回答が最も多かったのは「洗濯物のおいや乾きにくさ」で55.5%という結果になりました。2位以下は「室温や湿度の調整や管理」が44.9%、「濡れた傘や靴や持ち物の保管」が43.1%と続きます。梅雨の時期は、雨や湿気に関わる困りごとを抱えている人が多いことが読み取れます。

Q 梅雨の時期、住まいに関する困りごとはありませんか。各項目について最も当てはまるものをお選びください。

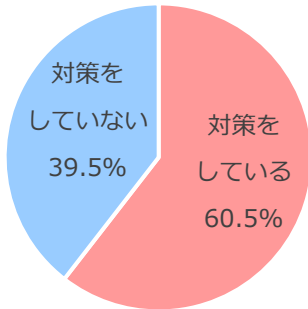


積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

困りごと 1 位の「洗濯物のおいや乾きにくさ」については、60.5%が工夫や対策をしていることがわかりました。その内容は「部屋干し用の洗剤類を使用する」が 40.2%で最も多く、「扇風機・サーキュレーターを使う」35.5%、「除湿機・乾燥除湿機（部屋に設置するタイプ）を使う」31.9%、「エアコンを使う」26.2%等が続き、多様なタイプの空調家電を活用していることもわかりました。

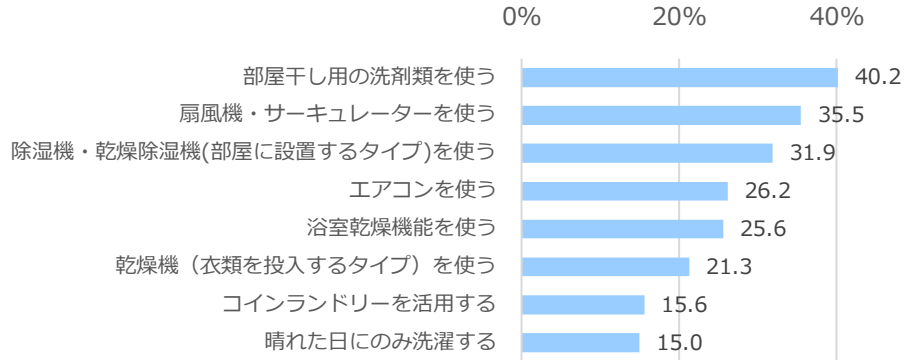
Q 梅雨の時期に、洗濯物のおいや乾きにくさについて工夫や対策をしていますか。

(梅雨がある地域に住んでいる人・n=497)



Q 梅雨の時期に行っている、洗濯物のおいや乾きにくさの工夫や対策内容

(複数回答 / 工夫や対策を行っている人・n=301)

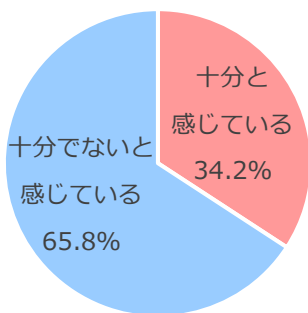


積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

しかし、工夫や対策をしている人のうち 65.8%は、工夫や対策が十分にできていないと感じているようです。十分にできていないと感じている人に困りごとを聞いたところ、66.2%が「乾きが悪い」と回答しました。乾かないと洗濯物が取り込めないため、48.0%が回答した「干し場が足りない」に、また乾燥までに時間がかかると雑菌が繁殖するため、42.4%が回答した「においがする」に、それぞれ他のお悩みにもつながってしまいます。「電気代が上がる」も 46.5%が回答しています。空調家電を使って洗濯物を乾かしている人が多いようですが、洗濯物の量や湿度の高さを考慮した上手な使い方での乾かすことがポイントになりそうです。

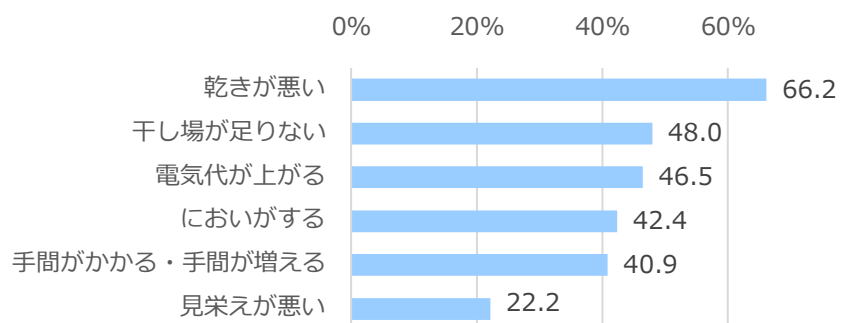
Q 梅雨の時期、洗濯物のおいや乾きにくさについて工夫や対策は十分にできていると感じていますか。

(工夫や対策を行っている人・n=301)



Q 工夫や対策を行う上での困りごと

(複数回答 / 工夫や対策が十分でないと感じている人・n=198)



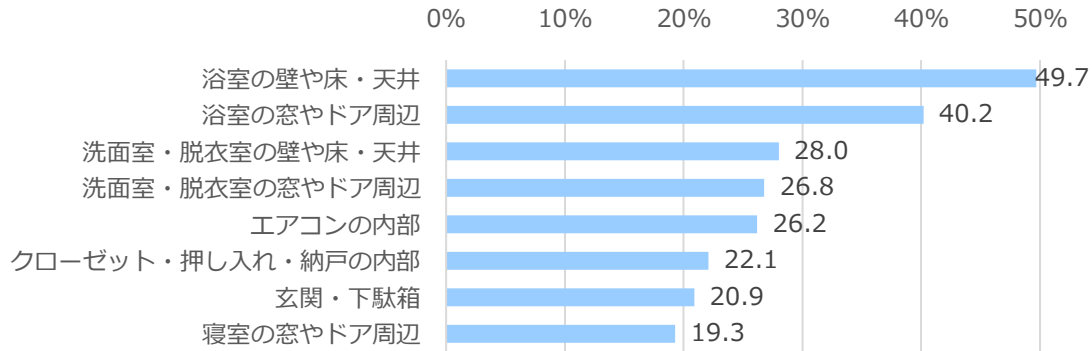
積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

家のカビ対策は半数以上が「窓を開けて換気をする」 湿った空気を取り込んでしまう可能性も

住まいの困りごと第 2 位は「室温や湿度の調整や管理」でした。湿度を不快に感じたり、湿度によって体感温度が上がり暑く感じたりする人もいるのではないのでしょうか。それだけでなく、室温と湿度がともに高い梅雨は、特にカビが発生しやすい時期でもあります。家の中で湿気やカビの気になる場所を聞いたところ、「浴室の壁や床・天井」49.7%、「浴室の窓やドア周辺」40.2%、「洗面室・脱衣室の壁や床・天井」28.0%、「洗面室・脱衣室の窓やドア周辺」26.8%と、水回りの空間が多く挙がりました。他にもエアコンの内部や、クローゼットや下駄箱などの収納周りを回答した人も 2 割以上になりました。

Q 梅雨の時期、家の中で湿気やカビの発生が気になる場所はどこですか。

(複数回答 / 梅雨がある地域に住んでいる人・n=479)

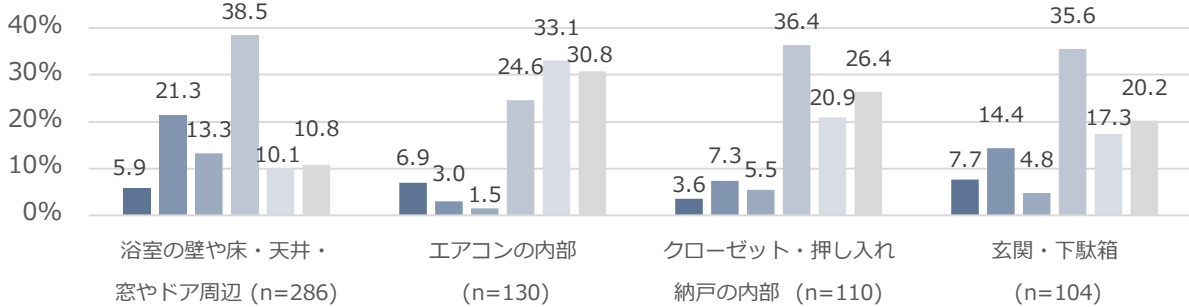


積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

各空間の湿気やカビが気になる人に、梅雨の時期の掃除頻度を聞いたところ、浴室やクローゼット・押し入れ・納戸の内部、玄関・下駄箱などは「月に1回程度」と回答した人が最多でした。一方で、エアコンの内部は「梅雨時期にはカビ掃除をしない」が最も多く33.1%、次に「梅雨時期に限らずカビ掃除をしない」が30.8%という結果になりました。届きにくい場所や掃除の手間がかかる場所は、カビが気になっても掃除ができないことが予想されます。クローゼット・押し入れ・納戸の内部や玄関・下駄箱といった収納周りも「梅雨時期に限らずカビ掃除をしない」人が2割以上いることもわかりました。

Q 以下の場所について、カビ掃除はどのくらいの頻度で行っていますか。

(梅雨の時期に特に湿気やカビの発生が気になると回答した人)

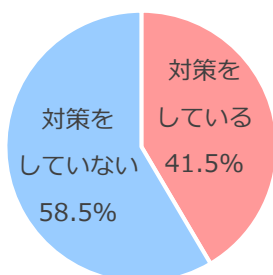


積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

家のカビについて「対策をしている」と回答した人は41.5%でした。対策内容は「窓を開けて換気をする」が51.5%、「換気扇を使う」が35.9%と、空気の入れ換えを行っている人が多いことがわかりました。しかし、外の湿度も高い梅雨の時期は、換気をするするとさらに湿った空気を家の中に取り込んでしまうことにもつながるため、湿度の高い日は除湿機などを利用するのもおすすめです。

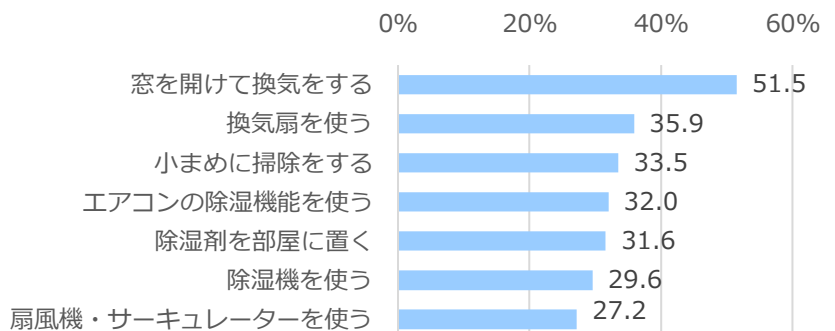
Q 梅雨の時期に、家のカビについて工夫や対策をしていますか。

(梅雨がある地域に住んでいる人・n=497)



Q 梅雨の時期に行っている、家のカビの工夫や対策内容

(複数回答 / 工夫や対策を行っている人・n=206)



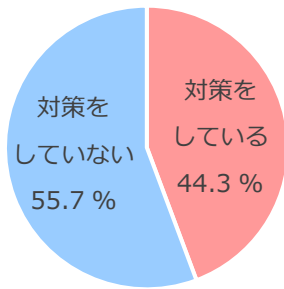
積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

衣類や寝具は室内での風通しを行う人が多数

カビは住まいの空間や部位だけでなく、衣類や布団やマットレスにも注意が必要です。衣類や布団やマットレスの湿気やカビについて、工夫や対策を行っている人は 44.3%でした。日常的に着ている衣類や靴の対策内容を聞いたところ、最も多かったのは「除湿剤を使う」42.3%でした。「使用后すぐにクローゼットや下駄箱に入れたい」36.4%、「クローゼットや下駄箱、たんすの換気をする」33.2%、「クローゼットや下駄箱に詰め込みすぎない」28.6%などから、収納に湿気を持ち込まない工夫や収納の換気を心がけている人も一定数以上いることが読み取れます。クローゼットや下駄箱に入れる前の一時置き場を整えたり、風通しの良い収納を用意したりできるとよさそうですね。

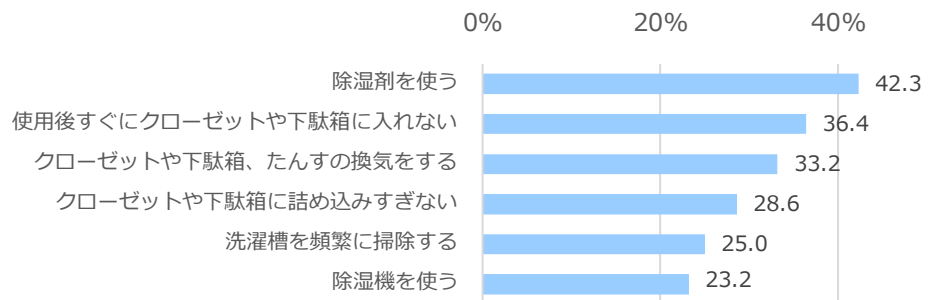
Q 梅雨の時期に、衣類や布団やマットレスの湿気やカビについて工夫や対策をしていますか。

(梅雨がある地域に住んでいる人・n=497)



Q 梅雨の時期に行っている、日常的に着ている衣類や靴の湿気やカビの工夫や対策内容

(複数回答 / 工夫や対策を行っている人・n=220)

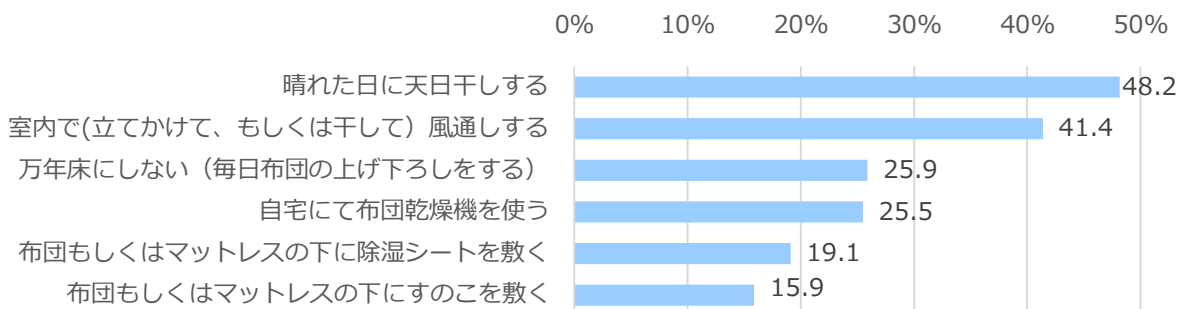


積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

日常使いの布団やマットレスの対策について聞いたところ、「晴れた日に天日干しする」が最も多く、48.2%でした。2位以下は「室内で(立てかけて、もしくは干して)風通しする」41.4%、「万年床にしない」25.9%、「自宅にて布団乾燥機を使う」25.5%と続きます。天日干しできる晴れの日が少ない梅雨の時期は、室内でも風通しを行い、しっかりと湿気を取る工夫をしている人も少なくないようです。

Q 梅雨の時期に行っている、日常使いの布団・マットレスの湿気やカビの工夫や対策内容をお選びください。

(複数回答 / 工夫や対策を行っている人・n=220)



積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

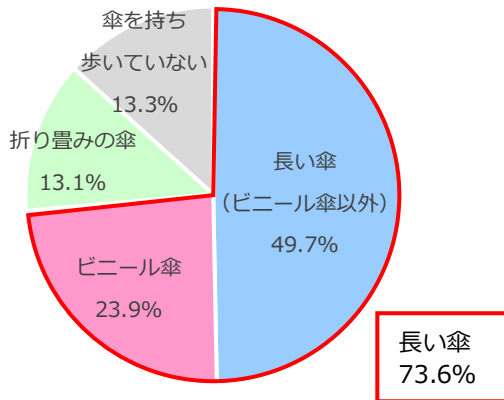
終日雨の日は7割以上が長い傘を持ち歩き 濡れた傘は玄関土間に置く人が多い

梅雨の時期に持ち歩いている雨具は、終日雨の日は「長い傘(ビニール傘以外)」が49.7%、「ビニール傘」が23.9%で、長い傘を持ち歩いている人の合計は73.6%でした。終日雨の日は「長靴やレインシューズ」「レインコート」と回答した人もおり、とくに「長靴やレインシューズ」は女性が34.4%と、男性の14.2%と比べて20.2ポイント高い結果となりました。

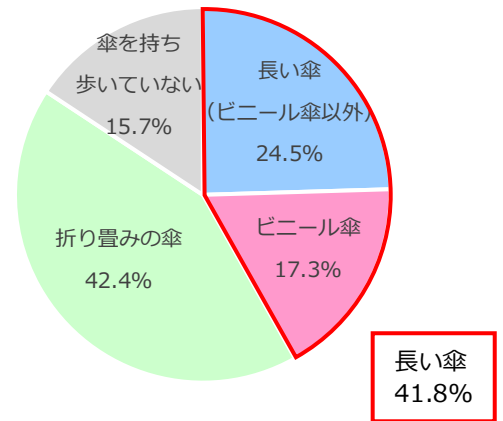
雨予報がある日(終日雨の日を除く)は、長い傘を持ち歩いている人の合計は41.8%で、「折り畳みの傘」を持ち歩いている人(42.4%)と同程度の割合でした。また、梅雨の時期は予報で雨が降る降らないに関わらず約6割の人は傘を持ち歩いているとわかりました。梅雨の時期は雨の降る時間に合わせて、傘を使い分けている人もいることが読み取れます。

Q 梅雨の時期、どのような雨具を持ち歩いていますか。傘は、最も当てはまるものをお選びください。

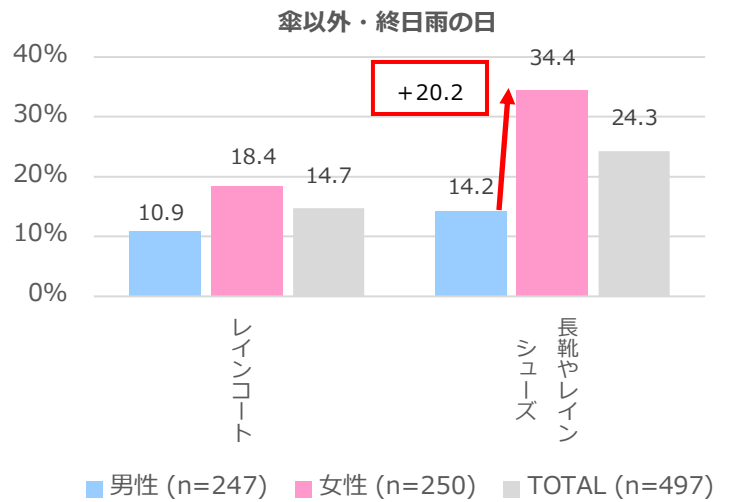
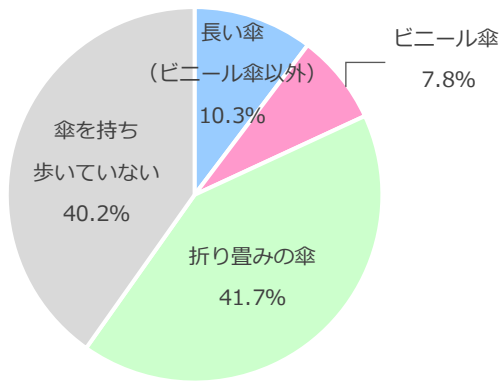
傘・終日雨の日
(梅雨がある地域に住んでいる人・n=497)



傘・一部の時間で雨が降る日
(梅雨がある地域に住んでいる人・n=497)



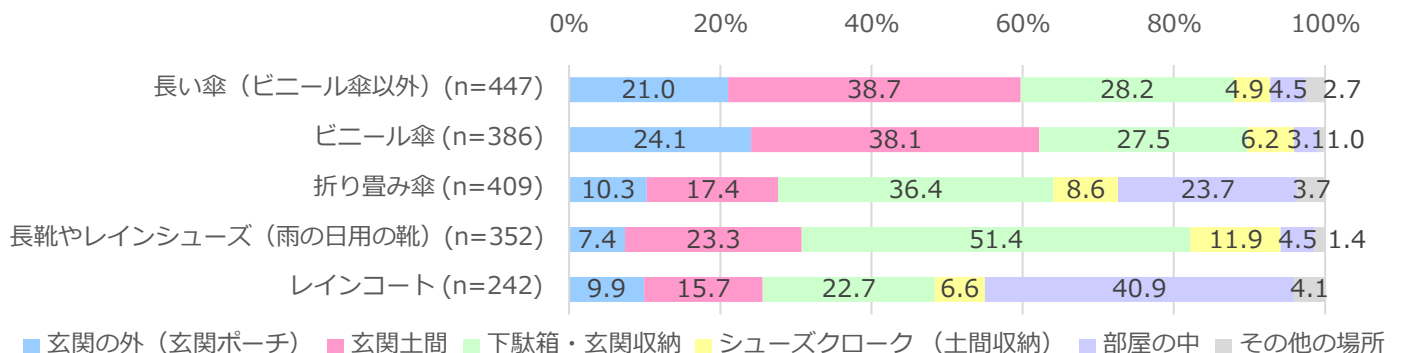
傘・雨予報ではない梅雨の日
(梅雨がある地域に住んでいる人・n=497)



積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

梅雨の時期は様々な雨具を活用している人が多いようですが、普段は自宅のどこに保管しているのでしょうか。傘や雨具の保管場所について、長い傘やビニール傘は「玄関土間」がそれぞれ 38.7%、38.1%で最も多く、次に多いのが「下駄箱・玄関収納」でそれぞれ 28.2%、27.5%でした。折り畳み傘は「下駄箱・玄関収納」が最も多く 36.4%でした。傘以外では、長靴やレインシューズは「下駄箱・玄関収納」が 51.4%、レインコートは「部屋の中」が 40.9%で 1 番多くなりました。

Q ご自宅では乾いている傘や雨具をどこに保管していますか。それぞれ最も当てはまる場所をお選びください。

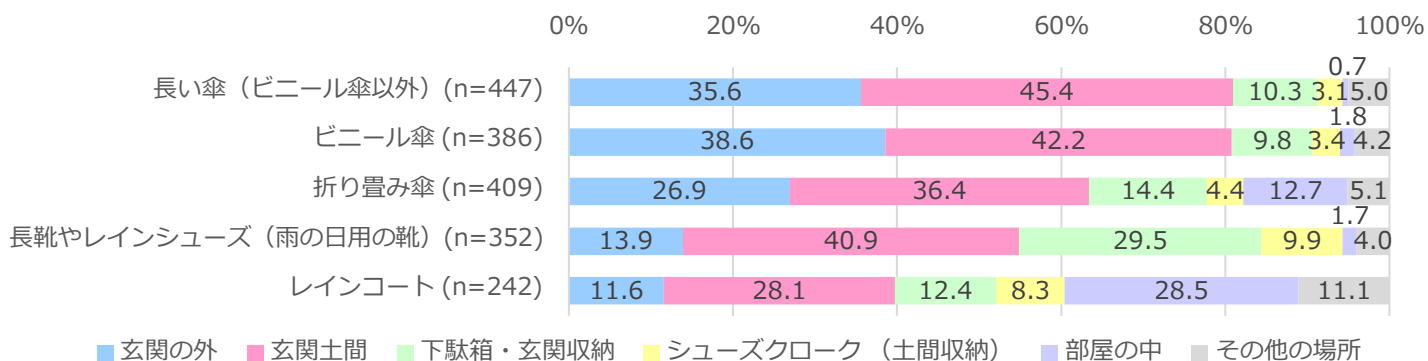


積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査 (2023年)」

濡れた雨具の置き場については、傘は種類に関わらず「玄関土間」に置いている人が最も多いことがわかりました。玄関の外または玄関土間に置いている人のうち、長い傘（ビニール傘以外）の置き方は「傘立て」が54.7%、「直置き・立てかけ・掛けておく」が45.3%で、折り畳み傘は「直置き・立てかけ・掛けておく」が半数以上の58.3%でした。濡れた傘の置き方が整頓できていない人や、置き方に困っている人もいるのかもしれませんが。

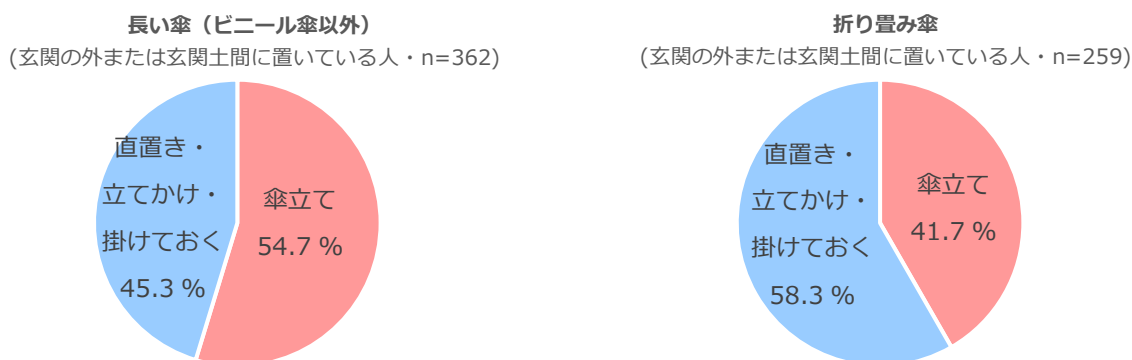
長靴やレインシューズも「玄関土間」が40.9%で1位でしたが、2位は「下駄箱・玄関収納」29.5%で、濡れたまま収納にしまっている人も少なくないことがわかりました。レインコートで最も多かったのは「部屋の中」が28.5%、ほぼ同割合で「玄関土間」28.1%が続きました。保管場所は「部屋の中」が40.9%であることから、一時的に玄関を干し場とし、乾いたら室内にしまう人もいることが読み取れます。

Q ご自宅での濡れた傘や雨具の置き場所として、最も当てはまる場所をお選びください。



積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査（2023年）」

Q ご自宅での濡れた傘の置き方として、最も当てはまるものをお選びください。

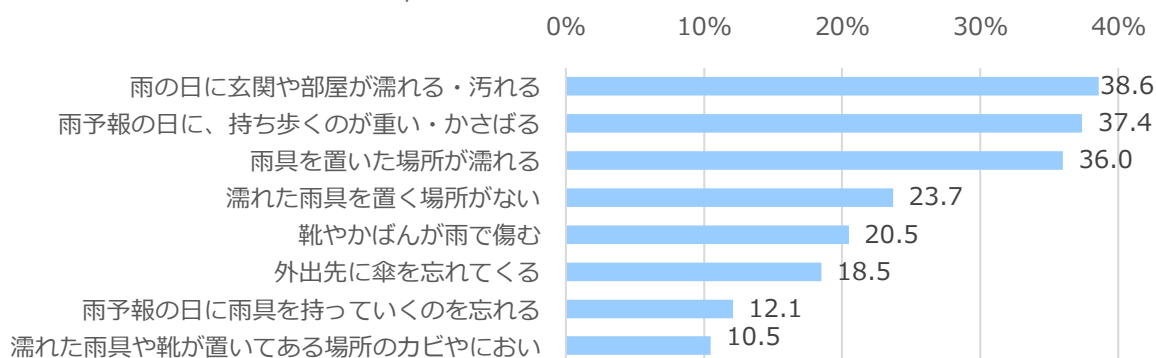


積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査（2023年）」

梅雨の時期の持ち物についても困りごとを聞いたところ、「雨の日に玄関や部屋が濡れる・汚れる」が最も多く38.6%でした。「雨予報の日に、持ち歩くのが重い・かさばる」37.4%、「雨具を置いた場所が濡れる」36.0%、「濡れた雨具を置く場所がない」23.7%と続きます。なるべく玄関や部屋が濡れたり汚れたりしないような雨具置き場を整えておけると気持ちよく過ごせそうです。

Q 梅雨の時期に、傘や雨具などの持ち物について困っていることはありますか。

(複数回答 / 梅雨がある地域に住んでいる人・n=479)



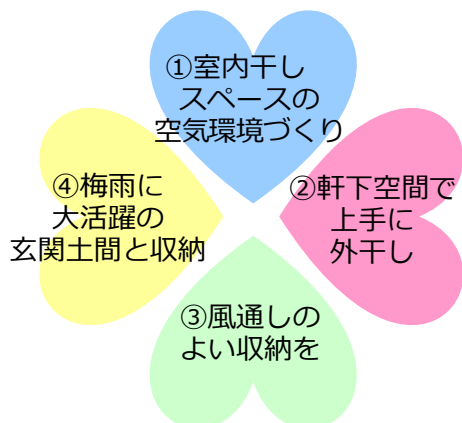
積水ハウス株式会社 住生活研究所「梅雨の暮らしに関する調査（2023年）」

4つの「幸せ Tips」で梅雨の暮らしを快適に

調査では、洗濯物のおいや乾きにくさ、家や衣類や寝具のカビ、濡れた雨具の置き場など、梅雨の時期は住まいや暮らしに関する多くの悩みがあると判明しました。最も困っている人が多かった洗濯物のおいや乾きにくさについては、6割の人が対策をしているものの、そのうち65.8%の人は対策が十分でないと感じており、湿気やカビ対策は半数以上の人ができていないようです。手軽に様々な悩みが解決できるとよさそうですね。

積水ハウスでは、洗面室や玄関周りなどにおいて、梅雨の時期も快適に過ごせる空間をご提案しています。ここでは梅雨に向けて行いたい4つの「幸せ Tips」をご紹介します。

梅雨の暮らしの4つの「幸せ Tips」



- ① **室内干しスペースの空気環境づくり**：外気の湿度が高い梅雨の時期は、窓を開けて換気をする、余計に湿った空気を取り込んでしまいます。そこで、室内干し空間の換気には、窓ではなく室内側のドアを開け、比較的乾いた空気を取り入れましょう。サーキュレーターなどで風を送れば、より短時間で洗濯物を乾かせます。除湿機などを使用する場合は、より効果的に空間の湿度を下げるため、洗濯物を干している空間をできるだけ小さくし、密閉することがおすすめです。



- ② **軒下空間で上手に外干し**：梅雨の時期は、洗濯物も濡れた雨具も干し場に困りますよね。雨の日に洗濯物を外に干すのは抵抗がありますが、雨具であれば、水滴をできるだけ外で落として乾きやすくするために、雨のかからない玄関ポーチや軒下などで一時的に干すのも一つの手。晴れ間に洗濯物を外で干す際も、軒下空間があれば通り雨にも濡れずに済みますね。



- ③ **風通しのよい収納を**：朝、湿気を含んだ布団を押し入れにしまう際は、収納内部のカビに注意。収納の風通しを良くすることが対策の一つです。押し入れの左右の扉の両端を少しずつ開け、風の通り道をつくりましょう。クローゼットなど衣類の収納は、詰め込みすぎずに風が流れる隙間を残しておくこともポイントです。加えて、カビや結露の発生を抑える調湿建材を収納の壁に用いればより安心です。



- ④ **梅雨に大活躍の玄関土間と収納**：傘を直置きしている人も多いようですが、玄関土間に雨の日用の傘立てを置けば、濡れた傘がまとまり、玄関にある他の物を濡らさずに済みます。乾いたら傘立てと一緒に玄関収納にしまえば、雨の日以外の土間もすっきり。玄関土間にハンガーラックを置けば、濡れた上着やレインコートも干せますよ。また、梅雨以外も、花粉を室内に持ち込まない等の効果も発揮します。これから住まいを考える方は、乾かす、しまう場所も含めた土間や収納を検討してみてくださいね。



ぜひ皆様も4つの「幸せTips」を参考に、もうすぐやってくる梅雨を快適に過ごすための工夫をご自宅に盛り込んでみてはいかがでしょうか。

住生活研究をはじめとする住まいの専門家 河崎由美子メッセージ

梅雨の時期は、洗濯物を外に干せないストレスに加え、洗濯物自体の量も増えがちです。雨の日の室内干しの洗濯物は乾きにくく、傘などの雨具を一時的に干す場所の不足、カビの発生など、住まいにとっては本当に問題の多い季節です。この時期を乗り切るためには空調や乾燥室などの設備を活用することが最適ですが、Tips も参考にして、上手に住みこなしてほしいと思います。

雨具や雨の日用の雑貨はおしゃれなデザインも増えていますので、アイテムを何種類も持っている人もいるのではないのでしょうか。きっと、お気に入りのアイテムを持ち歩いて、この季節を楽しんでいる人もいないのではないかと想像しています。梅雨で気持ちまでジメジメしないよう、雨の日も暮らしを楽しみましょう。



河崎由美子

フェロー R&D 本部

1987年入社。高校入学までの12年間を海外で過ごした経験や子育て経験などを生かし、総合住宅研究所でキッズデザイン、ペット共生、収納、食空間など、日々の生活に密着した分野の研究開発全般に携わる。執行役員、住生活研究所長を経て2023年4月より現職。一級建築士。

<「梅雨の暮らしに関する調査」調査概要>

調査期間：2023年4月7日～10日

集計対象人数：500人

集計対象：全国の20～60代の既婚男女

<記事などでのご利用にあたって>

・引用元が「積水ハウス株式会社 住生活研究所」による調査である旨と、引用元調査「梅雨の暮らしに関する調査（2023年）」の記載をお願いします。

・積水ハウスウェブサイトの該当記事

(<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/research/20230602/>) へのリンク追加をお願いします。

<住生活研究所について>

住めば住むほど幸せ 住まい

積水ハウスが2018年に開所した、日本の企業として初めて「幸せ」を研究する研究所です。

人・暮らしの視点で、ライフステージ・ライフスタイル、そしてこれからの住まいのあり方の調査・研究を行っています。今後迎える「人生100年時代」には、暮らしにおける「幸せ」のさらなる追求が重要と考え、時間軸を意識した「住めば住むほど幸せ住まい」研究に取り組んでいます。研究を通して、幸せという無形価値、つまり「つながり」「健康」「生きがい」「私らしさ」「楽しさ」「役立ち」といった幸福感を高め、家族やライフスタイルの多様な変化に対応する幸せのかたちをお客さまへご提案することを目指しています。

ウェブサイト：<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/rd/humanlife/>

これまでの調査リリース：<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/research/>